

『オープン相談会』に参加して

藤原 美恵

ケアマネ協会の業務委員として活動を始めて携った大きな仕事の1つがオープン相談会でした。私に関わった南部のオープン相談会についてお話します。

朝会場となった“阿南市文化会館”につくと他のメンバーも来られていて会場の設営はほとんど終わっていました。テーブルは10名程が1グループとなり、6グループに分かれていました。長寿社会課の原さんをお招きして各々の相談会が始まりました。私のグループは1人で事業所をしているまだ1年目の新人さんやベテランの方を含め4名という少人数でしたが、ディサービスの利用はサービス提供者が変更して連絡をくれないとか、入所を受け入れてくれる事業所が近くにない場合のロングショートの問題など普段から疑問に思っている事や悩みなどについて、私はこうしているとか、こう思うといった意見、また原さんから、意見を頂いたりしてあっという間に1時間半が過ぎていきました。最後に各グループの意見を発表し、閉めくくり終了しました。

わざわざ電話して聞く程のことでもないけれど、またインターネットには載っていない疑問点など、話すだけで胸のつかえがスッととれた様な気がします。明日への活力をもらえるこんな相談会が続いてくれる事を願っています。

『オープン相談会』に参加して

山口 浩志

3月6日に県立総合福祉センターでケアマネオープン相談会が開かれました。これまでの私は協会へ所属はしていたものの、相談会と名のつく企画にはほとんど不参加でした。と申しますのも、受け持ちケースの事で何を相談すればいいのか、整理がついていなかったし、場の雰囲気もイメージできていなかったという事もありました。この度は業務委員の一員としての立場上そういう言い訳もできないという事もありましたが、企画側というより一人の参加者という気持ちでの参加でした。

当日は私たち委員会から2名の方が進行を担当いたしました。参加人数としては約30名と、少人数でありましたが、1グループ5～7名の4グループに分かれてのディスカッション形式で進められました。私たちのグループでは、ケアマネとしての経験年数が1～2年の方が半数、3年以上が半数という構成で始めたばかりの方たちの質問に経験者が答える、という進行でした。質問に答える中、教える側もケアマネとしての原点に戻られるような感じで、そういった意味からは、逆に『初心』を教えられたような立場になりました。

内容については、ケース会議の進め方、サービス担当者会議の資料作成の方法や事業者への日程調整方法、住宅改

修時手続きの書類の書き方、モニタリング訪問の時間のつくり方、といった事で、まさに現場の匂いムンムンといった空気でした。

オープン相談会というイメージ的には、一人のベテラン指導者が前に座り、質問に対して指導をする、という学校の3者面談みたいな印象だったのですが、実際に参加してみてもわかった事ですが、全員が教えたり、教えられたりといった、双方向の相談会でした。

ともすれば、ケアマネジャーは担当ケースに関してつまづいたり悩んだりして、孤独になりがちです。そうした時に考える事は、「利用者さんが何を望んでいるのか。」という利用者サイドの気持ちと「専門職としてどのように援助すべきか。」という専門職サイドの意見といった、2つの観点からの考えが生じ悩んだりします。

松下電器の創業者である松下幸之助氏も常に「正しい仕事とは。」「何が正しいかをよく考えているか。」といった、「正しさ」の確認実行作業を提唱していたそうです。

今後のオープン相談会がそういった「適した援助」ができていくかどうか、互いに確認できる場にしていく事は、ひいては自分自身にとっても会員の皆様にとっても有意義な場となり得ましょう。

今後もこの『相談会』に多くの会員の方々が集え、ひとり一人の悩みが解決でき、日々の活動へのステップとなっていけるよう、微力ではありますが、協力させていただきたいと思います。今後ともご指導の程よろしく願いいたします。

企画担当者からの報告

中 健太郎

介護支援専門員オープン相談会の徳島地区を担当いたしました。当日は約30名の方に参加いただき、グループ形式での相談会を行いました。各グループでは日頃の業務についての疑問や、行政に対しての質問などの意見が活発に出ており、白熱した相談会になりました。中には、実務研修を終えたばかりの参加者もあり、今後の業務についての疑問や不安などを、色々な事業所の先輩ケアマネジャーに相談する姿も見られ、ケアマネジャーのつながりが広がっていくのを実感し、有意義な相談会であったと感じています。当日は、県の長寿社会課の原さんにもご出席いただき、現場の質問に色々と答えてくださり、今後の業務に非常に役立っていくと感じております。他の事業所のケアマネジャーさんと、色々な意見を交換する機会はあまり皆さんないようで、アンケートにも「今後続けて欲しい」「次回も参加したい」との意見もあり、業務委員一同、次回もいい相談会にしよう！と考えております。この相談会が、少しでも現場のケアマネジャーさんの手助けになれるよう、お手伝いが出来たらと実感した一日となりました。